

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1070号
2008年3月9日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

◇3月の代祷・信施奉献先

▽聖公会生野センターのため
(3月1日に近い主日)▽教区青少年活動のため▽いのちの電話の働きのため▽エルサレム教区のため(受書日3月21日)▽キッズスクール(幼稚園)のため

《奉献先から》

教区青少年活動

東京教区の青少年活動に関する支援は「青年支援部会」が母体となっており、今夏は全国から聖公会青年たちが集まる「全国青年大会」があります。4年に1度開催されており、同じ聖公会の青年同志で交わりを深め、それぞれの活動への刺激や励ましを得るほか、特に今回は沖繩というフィールドで多くの学びと経験を

得てくることが期待されています。東京教区では近隣の教区とも協力して事前学習会を開催し、1人でも多くの青年を送り出すために、告知と同時に参加費援助を積極的呼びかけていく予定です。今後のアピールにぜひ注目ください。(青年担当「中村真希」)

◆大斎プログラム6

▽外濠教会G聖木曜日(主日)の礼拝

《聖餐制定記念》聖餐式・洗足式 20日17時・東京諸聖徒教会。説教「竹内謙太郎司祭」
▽山手教会Gイースターヴィジュアル 22日18時・聖マーガレット教会。説教「須賀義和司祭」
「公演中止」聖パウロ教会オルガンコンサート(3月14日) 2日号掲載は「演奏者の都合(来日不能)により公演中止」に。照会は同教会宛。

今週・来週の予定

3月9日～22日

- | | |
|-------|----------------------------|
| 9(日) | 大斎第5主日
月島～特別委員会
(月島) |
| 10(月) | 下町大空襲記念礼拝(月島) |
| 11(火) | 銀座朝祷会
常置委員会
礼拝音楽委員会 |
| 12(水) | E教区協働委員会 |
| 14(金) | 広報委員会 |
| 16(日) | 復活節前主日
合同聖信式(主教座) |
| 17(月) | 教財務サービス委員会 |
| 18(火) | 正義と平和協議会
運営委員会 |
| 19(水) | 教役者レクイエム
(主教座) |
| 20(木) | 聖木曜日礼拝(主教座) |
| 21(金) | 聖金曜日礼拝(主教座) |
| 22(土) | 聖土曜日礼拝(主教座) |

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

早いもので一年前、胸に異常を感じて病院に行ったら、予想通りの病名を告げられた。人生で誰もが必ず経験する気持ちを私も味わった。涙をふいて、真っ直ぐ教会に向かった。年が改まって早々のこととて、いろいろな働きの中から下ろして頂かねば・・・と。これから通院外来で一ヶ月かかって検査をする。そのあと入院手術となるだろうと、およそのことは想像がついた。

牧師には病院であったこと総てをお話して祈って頂いた。総てに時がある、時は至れり。神様のご計画ならば、みこころに従いたい、切に祈った。すぐそばに神様がいて下

《恵みに生かされて》

感謝いっぱい!

小笠原安子

に心配して頂いている申し訳なきに身を縮める。ありがとうございました。一年前の衝撃を忘れないように、素直に従順に生きたい。神様のみ恵みによつて生かされている私なのだから。

さり、強い力で守られていると、大きな喜びに満たされた。

やがて一日一粒のお菓をのむだけの治療が始まった。何の制限もなく、普通に暮らしてもよいと言われて過ぎた日々。時々検査を受け、最初に試したお菓が効

いて、迎えた一年目の結果は異物はほぼ消え体調の数値もすべて良好と出た。

毎日元気に飛び回って過ごし、時々「体調は如何ですか」と聞かれ、我に返る時、まわりに

(目白聖公会信徒)

信仰と生活委員会報告

(2月28日)

*全国青年大会(8月20～23日
 Ⅱ沖縄)に向け、事前勉強会開
 催など企画検討中との青年活動
 支援部会報告。

*山手G静想会および立教学院諸
 聖徒礼拝堂聖歌隊英国親善研修
 行に、それぞれ支援金支出報告。

*両宮神父北海道教区への出前
 講座と交流プログラムを企画検
 討中。

*「新あつい壁」上映会開催企
 画(4月7日・月・19時聖・ア

ンデレホール)。

*企画室(同室長陪席)からの
 「献金教育」充実に対する要請を
 受け検討、継続審議に。

*各教会G、正義と平和協議会
 運営委員会、SSS、一粒の麦
 の会などの活動報告。

*教区フェスティバル(9月23
 日・立教女学院)、オウルナヌムの
 会によるソウル教区フリースクー
 ル来日団歓迎会(2月19日)開
 催、同川崎フイールドトリップ

(20日)など宣教主事報告。
 *その他

◇教区・聖なる三日間の礼拝Ⅱ聖アンデレ主教座聖堂◇

・聖木曜日 20日11時 聖油聖別の聖餐式・司祭の約束の更新

・聖金曜日 21日正午 《受苦日礼拝》

司式Ⅱ廣澤敏明司祭 説教Ⅱ佐々木庸司祭

・聖土曜日 22日18時 復活前宵祭・復活ろうそくの礼拝

《今、この教会では…》

神田キリスト教会

当教会で姉妹教会について関
 心が高まってきています。

最初は教会委員会でも何度か話す
 位でしたが、今は婦人会などでも
 話がでるようになりました。

教区を越えて他教区と長く交
 流を行うならば、互いに実りあ
 る関係になるよう望むのは当然
 です。話し合いを始めてみると
 姉妹教会としての交流を行うこ
 との意義から、具体的にはどこ
 の教会とどのような形態で交流
 するかなど、話の内容は多岐に
 わたっています。

すぐに結論とはいかないまで
 も時間をかけて話し合う事は所
 属する教会を見つめる良い機会
 になっています。(佐藤恵輔)

【学びと働きから】70
 カパティラン活動の昨今

カパティランは今年設立20周
 年を迎えます。相談者が直面し
 ている問題の内容は変化・複雑
 化してきました。設立当初多
 かった賃金不払いや売春の強制
 などの相談は、今では結婚と夫
 婦問題に変わっています。

多くの相談者は複数の領域に
 またがる問題を抱えています。

ビザについてはより複雑な更新
 の問題へと発展します。たとえ
 ば、知らないうちに不法に離婚
 されていた、DV(ドメスティッ
 クバイオレンス)の配偶者から
 逃れたいのにビザがすでに切れ
 ているに逃れられない、離婚の手
 続きの最中にきれてしまう、な
 どです。時には結婚がビザとい

う目的のためになされます。自
 分のビザを更新するために定期
 的に一定額の支払いを要請され
 たり強いられます。いくつかの
 ケースでは、ビザの申請をする
 前にお金を取られ、その証拠も
 なく、お金を取り返すこともで
 きず、そのひどい状況を利用し
 ようとする人たちのされるまま
 になっていきます。言葉や法律に
 不慣れで、簡単に情報を利用で
 きない外国でこのような問題を
 切り抜けていくことは、非常な
 ストレスとなって、相談者の中
 には健康を害して医療問題に直
 面する人もいます。また健康保
 険がないために問題が複雑にな
 る場合もあります。

スタッフは審判的態度や決め
 つけをせず聴くこと、また、相談

者が自身の問題を解決するため
 に内なる強さや資質を見いだせ
 るよう支え、励まし、勇気づけ
 ることをできるようさらなる訓
 練の必要を実感しています。

外国人が直面する問題はなく
 ならないでしょう。日本・フィ
 リピン間に日本での介護士受け
 入れの協定があります。日本に
 来る介護士たちは新たな問題に
 直面するでしょう。私たちはそ
 れに取り組む準備をしなければ
 なりません。移住労働者が直面
 するあらゆる問題に取り組める
 ように法律の変化に遅れずにつ
 いて行き、スタッフが訓練を重
 ねてしっかりとしたチームとして
 活動を続けたいと思います。

プログラム・ディレクター

守戸エイプリル